

レブンコザクラ(サクラソウ科:赤系)
中部岩峰群から上に多い



アズマギク(キク科:淡紅系～赤紫系・白系)
赤紫色と淡紅色が混成していて北部岩峰群に多い
完全に色花であるが、他色との混成もある





ホテイアツモリ

オオヒラウスユキソウ(キク科:白系)

全山の岩壁や岩礫帯に見られるが、近年激減してきている



トチナイソウ(サクラソウ科:白系)

岩壁の裂け目に根を張る小さな花で激減してきている



**チョウノスケソウ(バラ科:白系)もあちらこちらに
葉がギザギザで特徴的。中央岩峰群の一部で見られる**



キバナアツモリウ



キリギシソウ (キンポウゲ科: 白系)

固有種植物で激減してきているものの筆頭

あまり強烈な陽射しは好まなく、極く一部にしかない





**1999 (H11) 年、
入山制限時の
永緑峰北部の
踏み跡。
岩壁のオオヒ
ラウスユキソ
ウは、ほとん
ど死滅状態に
なっている。**



**2010(平成22)年の
状況**

**1999(H11)年との
11年目を比較すると、
かつての踏み跡は
わからなくなっている。**



**岩壁基部につけられた踏み付け跡に戻ってきた
センボンヤリ
(ムラサキタンポポ)
(キク科:紅紫色)**

全山に散在し、日当たりのいい場所に咲く。

北海道森林管理局

局長 石島 操 様

嵯山高山植物保護林の
希少植物保護対策について

要 望 書

市 別 芦
嵯山自然保護協議会

10周年自然保護フォーラム開催



嵯山入山制限10周年自然保護フォーラム

基調講演
「嵯山の植物的自然は
子孫に残すべき大切な宝」
講師 北海道大学教授
佐藤 謙 氏

嵯山の植物的自然
子孫に残すべき大切な宝
(2008. 10. 5、芦別市)

佐藤 謙
(北海道大学)



ご清聴ありがとうございました